

# 平成18年度・平成19年度 富山県元気な雪国づくり事業 雪国にふさわしいカーポートの提案

# 13

## 事業の概要

地域づくり・文化支援センターでは、平成18年度、平成19年度に「富山県元気な雪国づくり事業」の補助金を得て、「雪国にふさわしいカーポートの提案」の研究を行いました。

## ●背景と目的

富山県ではマイカーは生活に欠かせず、2人以上の世帯についての自動車普及率は95.7%と全国第5位(平成16年度)です。降雪期の利便性を考慮すると屋根付きが望まれ、家屋の前面に位置する大きなカーポートは街並みの景観を損ねている場合が多いようです。冬季における自動車利用の不便さの一つを解消するだけでなく、美しい街並みを形成することで、生活の質を高め、心身共に明るく元気な雪国の生活を目指します。

## 現地調査

県内アンケート(報告書参照)調査対象地域決定のための予備調査、また降雪地域および無降雪地域に対し現地調査を行いました。

予備調査1：県内(太閤山、東太閤山、常国、中田、鐘紡町)

予備調査2：県内(高屋敷、月岡、北島)

現地調査1：北海道(札幌市内)

現地調査2：福井県(福井市、大野市)

現地調査3：新潟県(上越市)

現地調査4：県内(鐘紡町、東太閤山、常国、北島)

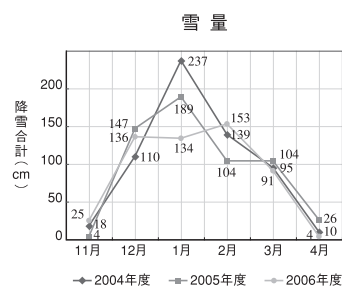
現地調査5：県内(高屋敷、月岡、希望が丘)

現地調査6：北海道(無降雪期の札幌市内)

現地調査7：岡山県(岡山市 郡、吉備中央町)

## 北海道 札幌市(降雪地区調査例)

札幌市：札幌市内の  
南区、豊平区、中央区、  
清田区、厚別区に点在  
する住宅地です。  
雪量：降雪合計(単位  
cm)：気象庁ホームページ  
気象統計情報より



## ●札幌市の特徴：

- 1 北海道独特のカスケードタイプの車庫が非常に目立ちます。質実剛健なプロダクトがこの環境では求められていたことが伺えます。しかし景観までの配慮は成されていません。
- 2 冬の厳しい環境のせいか、カーポートは非常に少ないです。
- 3 ビルトインや車庫タイプ、高床式がメイン。
- 4 カスケードタイプを規制しカーポートを推奨している地区もありました。
- 5 2006年度は例年に比べさらに1月の降雪量が減っています。

## 現地調査(参考例)：北海道 札幌市清田区 平岡公園3

## ●清田区平岡公園東3の特徴：

開発時期：昭和60年代頃～

立地条件：高速道路に隣接する通勤圏。市内まで7キロ。区画にゆとりがあり、街路樹のある通りもあります。

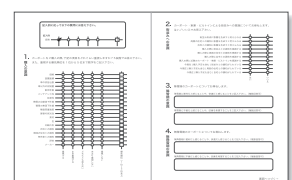
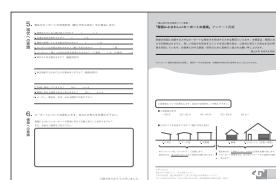
- 1 歩道が広く街路樹のあるストリートからも環境に意識のある地域ようです。(⑤⑥)
- 2 各家の工夫で母屋との調和を意識していることがうかがえます。(②③④)
- 3 ビルトインが少ない地域。カスケードとカーポートがほとんどです。(①②③④)

## ●調査写真：



## アンケートの実施

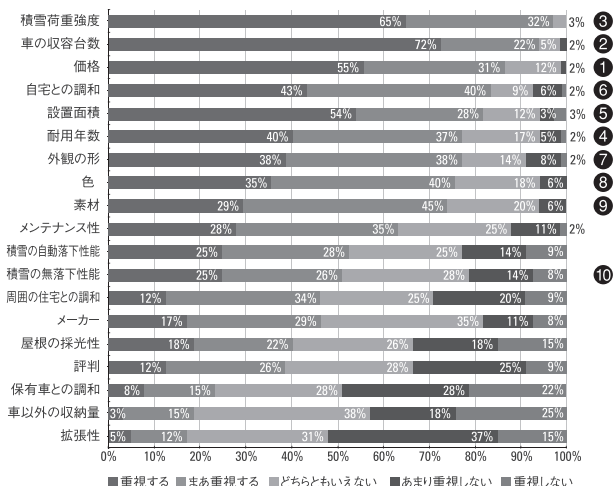
カーポートの現状を把握するためのアンケートを実施しました。



## アンケートの集計（一部抜粋）

## ●「1.購入の意識」

カーポートをご購入の際、下記の項目をどれくらい重視しますか？



## ●重視する項目の優先順位TOP10（グラフ右端の丸数字）

- |          |          |             |
|----------|----------|-------------|
| 1 価格     | 5 設置面積   | 9 素材        |
| 2 車の収容台数 | 6 自宅との調和 | 10 積雪の無落下性能 |
| 3 積雪荷重強度 | 7 外観の形   |             |
| 4 耐用年数   | 8 色      |             |

## 雪国にふさわしいカーポートの提案

## ●街並み景観に配慮したカーポートの諸条件

## ープロダクトデザインとしての可能性ー

## 母屋との関連性 ー母屋と結びつくデザイナー

- ・母屋を意識したコーディネートが出来ること(①)
- ・母屋と同じ建築要素を持つことも答えのひとつですが、同じである必要はありません(②)

## 街並との関連性 ー道路と母屋との中間領域としてのデザイナー

- ・エクステリアとしてのカーポートのデザイン(②)
- ・街並み要素としてのカーポートのデザイン(②)

## 機能性との関連性 ー車のためではなく人のためのデザイナー

- ・玄関アプローチ(③)
- ・収納スペースからみえる人の姿(④⑤)

## 法令との関連性 ー制限の中のデザイナー

- ・カーポートが建築物であることの認識が薄いようです
- ・建ぺい率を守ることで無秩序から脱皮します
- ・改善には消費者のみならず供給側（メーカー、設計者…）も意識の向上が必要です(⑥)



① 母屋と素材や工法を合わせる



② 隣家や区画内でのバランスも重要



③ カーポートと母屋をつなぐ人の動線



④ 明確な置き場所があるという質の高さ



⑤ 趣味の場としての活用の可能性



⑥ これからカーポートが建つ敷地

## デザインコンセプト

## ●人を見つめ直してみえてきたもの

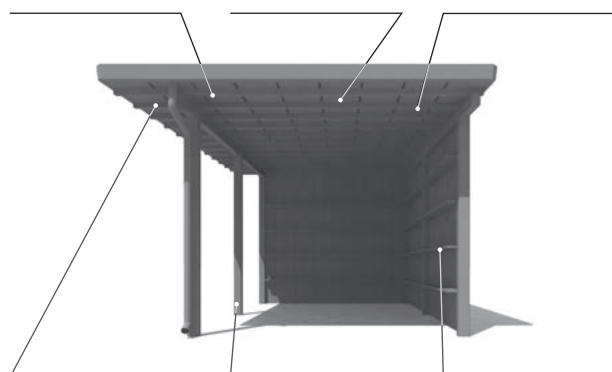
## ーカーポートが生活を楽しむ道具となるー

車を駐車するためだけではなく、もっと人が生活を楽しむ場所（道具）として見直すことで、カーポートはもっと人に近づきます。

在来構法にみられる垂木のように、建物らしい構造をきちんと取り入れ、どこか懐かしい安心感が生まれました。

屋根材の折板が見えないように天井板をはります。チープな印象から抜け出し、しっかりと景観への配慮の姿勢が伺えます。

天井にはランダムな位置に照明がついています。まるで夜空の星のように。スイッチを入れる瞬間は少しうれしい気持ちになります。



少しだけのびた底（ひさし）。さりげないけど暖かい思いやりです。ちょっとした気遣いが大きな幸せを生みます。

中柱の位置が、後方へ少しずれています。車のドアが干渉しない位置にあることで、日常がスムーズに流れていきます。

ギャラリーのように、道具を配置します。ここが自分の部屋だと思いつつ、便利さだけではなく意識の問題です。

## むすび

本研究の報告を兼ねた座談会の中で必ず挙るのが「プロダクト製品として街並みを整えるカーポートがあり得るのかー」ということでした。多くの住まい手は母屋に全力を注ぎ、内と外との中間領域（庭やアプローチ、カーポートも含む）にまで力が及ばない現状のなか様々なデザインの住宅が建ち並んでいきます。本研究は、美しい街並みを形成するカーポートの提案だけに留まらず、住まい手の一人一人が街並みに意識を向けることこそが最も重要であると考えています。その啓蒙のひとつの取り組みとして本研究を知っていただき、今回の提案に留まらず、実際に実現化に向けて進んでいけることを期待しております。